

(限 内 部)

海軍公報

(部内限)第三千九百十六號

海軍大臣官房

昭和十六年十月七日(火)

○通牒

兵備二機密第八一三號ノ四

昭和十六年十月七日

海軍省兵備局

關係各廳御中

飯用以外軍需用小麦粉配給ニ關スル件通知

首題ノ件別紙ノ通取計置候條了知相成度

(別紙)

昭和十六年九月四日

食糧管理局第二部食糧課長

海軍省兵備局第二課長殿

飯用以外軍需用小麦粉ニ關スル件

標記ノ件ニ關シ昭和十六年九月二日附兵備二機密第八一三號ヲ以テ照會有之候處本件ニ付テハ能ク限リ御趣旨ニ副フ様致度此段及回答候也

兵備二機密第八一三號

昭和十六年九月二日

海軍省兵備局第二課長

食糧管理局第二部食糧課長殿

飯用以外軍需用小麦粉配給ニ關スル件照會

飯用以外ノ海軍需用小麦粉所要量ニ付テハB。トシテ一萬四千石要求ノ處右用途ハ廣汎ニシテ數量亦確定シ得ザル等ノ關係モアリ一應物動上軍需トシテハ削除シアルモ之ガ配給ニ付テハ軍需ニ遺憾ナキ様農林當局ニ於テ取計フベキ旨ノ了解企畫院、農林省主務者間ニ於テ成立致候ニ就テハ之ガ配給ハ概ネ左記ニ依リ處理致度候條可然御取計相成度
追テ本件處理ニ關シ九月五日迄ニ何分ノ御回答相煩度

記

一、海軍各部ニ於テ直接軍需用トシテ需要スル場合
(1) 各廳ハ毎月所要數ヲ軍需局ニ通知シ軍需局ハ之

海軍公報(部内限)第三千九百十六號

昭和十六年十月七日

一三一五

0257

ヲ取纏メ食糧管理局ニ要求スルモノトス

(2) 食糧管理局ハ右要求ニ依リ所要數ヲ全國製粉配給株式會社ニ割當テ其ノ旨軍需局ニ通知スルモノトス

(3) 軍需局ハ右割當テヲ需要應ニ通知スルモノトス

(4) 需要應ハ右通知ニ依リ全國製粉配給株式會社ヨリ取得スルモノトス

二、軍需品製造原料トシテ民間工場ニ配給スル場合

(1) 各應契約擔任官ハ別紙様式ノ配給證明書三通ヲ調製シ一通ヲ申請者ニ交付シ二通ヲ軍需局ヲ經由シテ兵備局ニ提出スルモノトス

(2) 兵備局ハ右證明書ニ意見ヲ附シ食糧管理局ニ送付ス食糧管理局ハ右證明書ニヨリ申請者ニ賣渡シノ措置ヲ講ズルモノトス

(別紙添)

○ 辭 令

在墨館附武官室ニ於ケル事務ヲ囑託ス 上野 清
但シ報酬月額五百圓ヲ給シ部内限判任官ヲ以テ待遇セラル(九四軍令部)

在伯館附武官室ニ於ケル事務ヲ囑託ス 加藤 秀光
但シ報酬月額貳百貳拾圓ヲ給シ部内限判任官ヲ以テ待遇セラル(計四同)

第一課勤務ヲ命ス(計四同)

海軍少佐 桑原 春雄

第一課勤務ヲ命ス(計四同)

海軍機關大尉 中尾 忠雄

海軍軍醫中佐 清水 繁良

海軍機關少佐 和田 五郎

技術部第一課勤務ヲ命ス

海軍機關大佐 吉崎 直三

同 本田 豊

同 守田 定三

同 海軍機關中佐 増岡 増造

同 海軍主計中佐 大川 兵衛

在東京監督長ノ命ヲ承ケ服務スヘシ

海軍機關中佐 只木 重信

在名古屋監督長ノ命ヲ承ケ服務スヘシ

海軍機關大佐 奥村 繁喜

在大阪監督長ノ命ヲ承ケ服務スヘシ

海軍機關大佐 奥村 繁喜

<p>在神戸監督長ノ命ヲ承ケ服務スヘシ 河崎 茂治</p> <p>同 海軍機關中佐 小川 又雄 海軍主計大佐 藤田 傳次 海軍造兵少佐 高橋 保平</p> <p>(各通) 在廣島首席監督官ノ命ヲ承ケ服務スヘシ 海軍技師 栗山 光雄</p> <p>技術部第一課勤務ヲ命ス 主トシテ在東京監督長ノ命ヲ承ケ服務スヘシ 同 石渡 松雄</p> <p>技術部第一課勤務ヲ命ス 主トシテ在名古屋監督長ノ命ヲ承ケ服務スヘシ 同 木村 武夫</p> <p>技術部第一課勤務ヲ命ス 主トシテ在大阪監督長ノ命ヲ承ケ服務スヘシ 海軍書記 山本 重雄</p> <p>總務部第二課附ヲ命ス 同 笹森 圭</p> <p>教育部勤務ヲ命ス(以上ハ海軍航空本部) 囑託 天谷 鍾三郎</p> <p>自今報酬月額六拾四圓五拾錢ヲ給ス(ハ水路部)</p>	<p>○代將旗移揚 第二根據地隊司令官ハ十月四日代將旗ヲ木曾ヨリ宮崎丸ニ復歸、同五日射水丸ニ移揚セリ</p> <p>○司令驅逐艦復歸 第二十四驅逐隊司令ハ十月四日司令驅逐艦ヲ海風ニ復歸セリ</p> <p>○郵便物發送先 第四港務部宛 自今 横須賀郵便局氣付五〇八八</p> <p>○事務所撤去 吳潜水艦基地隊設立準備委員事務所ヲ九月三十日撤去セリ</p> <p>第四港務部設立準備事務所ヲ十月五日撤去セリ</p> <p>○特務艦石廊行動豫定</p> <p>地名 着 發</p> <p>横須賀 十月四日 十月五日</p> <p>吳 八日 十一月</p> <p>横須賀 十四日</p>
---	--

海軍公報(部内限)第三千九百十六號 昭和十六年十月七日

一三一七

0259

海軍公報(部内限) 第三千九百十六號 昭和十六年十月七日

一三一八

○移轉
下關防備隊(假稱)設立準備委員事務所ヲ十月十日吳
鎮守府構内ヨリ下關市吉見町ニ移轉ス

0260

(様式)

配給証明書

(昭和十六年十月七日海軍公報(部内限))

記 事	同 納 期	充當契 約事項 及數量 ノ 番號	要 配 給 期 日	受 給 場 所	受 給 者 氏 名	品 名 及 數 量	證 明 番 號

右證明ス

昭和 年 月 日

契約擔任官職 氏

名 印

0261

○ 艦船所在

▲印ハハ出シノ
指定ヲ要セズ

十月七日午前十時

【横須賀】

春日▲、劍崎▲、山城▲、神威、赤城、瑞穂、蒼龍、長門、高雄

野分、舞風、朝風、旗風、夕立、秋雲

驅潛一、驅潛二、驅潛三、驅潛特五三▲

【長浦】

津輕▲(伊三三)▲(伊三七)▲
掃一、掃二、掃三、掃四
驅潛一五、驅潛二三、驅潛二四

【横濱】

國後
筑紫▲(驅潛三二)▲
潮、澁

【浦賀】

風雲▲

【館山】

石垣
神風、野風、波風、沼風
哨三四、哨三五

【大湊】

淺間▲、八雲▲、鳳翔、伊勢、加古、瑞鶴、大井

若竹、吳竹、早苗、濱風

呂五七▲、呂五八▲、呂五九、伊五二、伊五三▲

伊五四、伊五五▲、伊五八、伊五九、伊五三▲

掃一七、掃一八
驅潛七、驅潛九、驅潛一九、驅潛二〇、驅潛二一

【大坂】

哨四六▲、哨三一、哨三三
早鞆、佐多
日進▲(伊二七)▲(伊三五)▲(伊七六)▲
矢風

【神戶】

(伊良湖)▲(伊一〇〇)▲(伊三五)▲(伊三二)▲
(伊四一)▲(伊一一)▲(秋津洲)▲
相生▲(驅潛三三)▲(若鷹)▲

【佐伯】

香取
伊一七、伊二〇、伊六六
哨三一

【舞鶴】

吾妻▲、利根、筑摩、口多摩、木曾、長良、八丈
薄雲▲、夕風、秋風、羽風、太刀風、鳩、鷲、初雁、真鶴、友鶴、千鳥、呂三四

【佐世保】

夕雲▲(秋月)▲
金剛、榛名、北上、足柄、瑞鳳、能登呂、望月、睦月、如月、彌生、沖風、水無月、三日月

【呂宋】

呂三〇▲、呂三一▲、呂三二▲、呂三三▲、呂三六▲、呂六六▲、呂六五▲、呂六七▲、伊五九▲、伊六〇▲

【掃部】

掃六、掃五、掃三、掃七、掃八、掃九、掃一〇、掃一一

【驅潛】

驅潛四、驅潛五、驅潛六、驅潛一六、驅潛一七、驅潛一八、驅潛特五一▲、哨三九、哨三八

海軍公報(部内限)第三千九百十六號

昭和十六年十月七日

一三三九

0262

【長崎】

敷島▲襟裳
(伊二四)▲(伊二九)▲(伊三九)▲(伊四三)▲
【作業地】
朝顔、峯風、芙蓉
出雲、宇治、安宅、二見、伏見、比良、熱海、
鳥羽、勢多、堅田、保津、岡田、名取、
陸奥、嵯峨、橋立、磐手、香椎、占守、
日向、霧島、古鷹、大鯨、扶桑、青葉、
衣笠、川内、龍驤、千歲、摩耶、
愛宕、鳥海、妙高、羽黑、那智、熊野、
三隈、最上、鈴谷、那珂、鹿島、飛龍、
白鷹、蒼鷹、初鷹、天龍、龍田、夕張、
迅鯨、勝利、駒橋、沖島、常磐、阿武隈、
長鯨、五十鈴、加賀、神通、翔鶴、
鬼怒、由良、八重山、嚴島、球磨、
村雨、春雨、五月雨、沙風、帆風、
春風、大潮、荒潮、朝潮、滿潮、朝雲、
峯雲、山雲、夏雲、初雪、白雪、吹雪、
浦波、東雲、叢雲、綾波、磯波、敷波、
浦波、狹霧、夕霧、天霧、若葉、初霜、
子日、初春、文月、皐月、長月、菊月、
夕月、卯月、曉、響、電、栗、梅、蓮、
刈萱、隴、早潮、親潮、夏潮、黑潮、
雪風、時津風、天津風、初風、不知火、
霧、陽炎、霞、谷風、浦風、磯風、朝風、
追風、疾風、夕風、白露、夕暮、時雨、
曙、有明、風、萩風、雷、海風、江風、

山風、涼風
鵠、鶴、雉、雁
呂六二、呂六一、呂六八、呂六三、呂六四、
伊三、伊二、伊一、伊六、伊四、伊五、
伊七、伊八、伊九、伊一五、伊一六、
伊一八、伊一九、伊二二、伊二三、伊六五、
伊五七、伊五六、伊六一、伊六二、伊六四、
伊六八、伊六九、伊七〇、伊七一、伊七二、
伊七三、伊七四、伊七五、伊二三、
伊二四
掃一三、掃一四、掃一五、掃一六、掃一九
驅潛八
宗谷、攝津、朝日、室戸、明石、鶴見

【航海中】

千代田 (一日吳發—作業地)
驅潛二、驅潛一〇 (二日舞鶴發—作業地)
伊二三 (四日橫須賀發—作業地)
隱戸 (五日下津發—德山)
野島 (五日吳發—橫須賀)
石廊 (五日橫須賀發—吳)
比叡 (六日作業地發—佐世保)
松風 (六日德山發—橫須賀)
尻矢 (六日德山發—橫須賀)
間宮 (七日吳發—作業地)

(限 内 部)

海軍公報(部内限)號外

昭和十六年十月七日(火)
海軍大臣官房

○ 辭 令

海軍大臣官房編纂事務囑託	千四百七拾圓	同	吉川 猛夫
千五百八拾六圓	池田 敬之助		
海軍省軍務局事務囑託	千五百四拾六圓	同	土本 峻一
千參百圓	米山 忠雄	同	難波 常三郎
同	一三三 利高	同	水野 孝吉
千參百圓	海軍武功調査事務囑託	千四百四拾圓	同
同	本市 次郎	同	公家 種次
千四百四拾圓	同	千四百四拾圓	同
同	香月 澄夫	同	大窪 隆
千四百四拾圓	海軍省軍需局事務關係事務囑託	千四百四拾圓	同
同	横山 德治郎	同	西 哲雄
千五百貳拾四圓	軍令部編纂事務囑託	千八拾圓	同
同	江成 五郎	九百圓	同
千四百七拾圓	同	海軍艦政本部業務囑託	同
同	本郷 眞	千貳百參拾九圓	同
			中野 亮

海軍公報(部内限)號外

0264

千貳百貳拾五圓	同	千貳百貳拾五圓	同
千參百參圓	同	千參百參圓	同
千參百六拾六圓	同	千參百六拾六圓	同
千六百九拾參圓	同	千六百九拾參圓	同
貳千參百圓	同	貳千參百圓	同
千四百拾圓	同	千四百拾圓	同
千六百五拾圓	同	千六百五拾圓	同
貳千七百七拾圓	同	貳千七百七拾圓	同
千四百七拾圓	同	千四百七拾圓	同
千參百圓	同	千參百圓	同
千貳百八拾圓	同	千貳百八拾圓	同
千四百四圓	同	千四百四圓	同
千四百四圓	同	千四百四圓	同
千參百圓	同	千參百圓	同
千貳百九拾貳圓	同	千貳百九拾貳圓	同
千貳百四拾六圓	同	千貳百四拾六圓	同
日野仁右門	國枝勝亞	田邊稻吉	原田文一
遠藤 薫	大西次七郎	横山 信一	近藤 俊治郎
天白一馬	小野寺丑藏	龜山盛一郎	小川俊彦
飯塚 太郎	鈴木金太郎	高橋 大江	小林 六治
中尾 五郎	小島 豊四郎		
尾形 秀人			

0265

千貳百五圓	同	須藤和四郎
同		
千貳百拾四圓	同	遊佐榮
同		
千貳百拾四圓	同	須藤真金
同		
千貳百八拾四圓	同	石川哲四郎
同		
千五百四拾圓	同	山中儀市
同		
千參百貳拾圓	同	西條勇治郎
同		
千貳百六拾圓	同	小林久二
同		
千百參拾四圓	同	出町要作
同		
千百貳拾貳圓	同	藤岡清
同		
千貳拾圓	同	瀧田仲藏

千貳拾圓	同	齋藤新
同		
千貳拾圓	同	兩宮茂命
同		
九百圓	同	芝田熊次郎
同		
千六百五拾圓	同	蛭田光夫
同		
千六百五拾圓	同	近藤務
同		
千六百五拾圓	同	山本宗郎
同		
五千五百圓	同	兒玉榮一郎
同		
四千五百圓	同	西願忠雄
同		
參千七百五拾圓	同	柿沼哲治
同		
千參百圓	同	芝崎源二

海軍公報 (部内限) 號外

三

0266

千參百圓	同	橫井登司男
豐川海軍工廠海軍共濟組合事務囑託		
九百六拾圓	洞田直三郎	
海軍航空技術廠業務囑託		
千百參拾圓	遠藤辰雄	
同		
千八拾圓	郷家養藏	
海軍航空技術廠工具養成所教務囑託		
千四百九拾圓	伊藤辨之助	
海軍航空技術廠技術業務囑託		
千百參拾圓	進藤琢藏	
同		
千百參拾圓	石田美雄	
海軍航空技術廠海軍共濟組合事務囑託		
參千五百圓	奈良太二郎	
同		
千參百圓	堀内品夫	
海軍航空技術廠支廠業務囑託		
千百參拾圓	遠藤恒彦	

(通各)

第一海軍火藥廠海軍共濟組合事務囑託	參千七百五拾圓	千葉勝
第二海軍火藥廠業務囑託	千五百六拾圓	中島寅三郎
第二海軍火藥廠海軍共濟組合事務囑託	參千七百五拾圓	稻葉勤
同	四千圓	設樂要
同	貳千貳百參拾圓	高山真司
同	千六百四拾四圓	佐藤音作
同	千四百七拾圓	小林忠正
橫須賀海軍病院齒科治療業務囑託	貳千七百七拾圓	橋元伊八郎
霞ヶ浦海軍航空隊齒科治療業務囑託	貳千貳百參拾圓	石川孝雄
橫須賀海兵團齒科治療業務囑託	千參百圓	立川保

0267

千四百九拾圓	土浦海軍航空隊教務囑託	新具恒雄	千貳百圓	同	村田興三松
千貳百圓	吳海軍軍需部事務囑託	中島平治	貳千六百圓	吳海軍工廠工員養成所教務囑託	喜利克人
同			同		
千貳百圓		松山三右衛門	千八百貳拾圓		吉田秀雄
同			同		
千四百拾圓		祖母井良吉	千八百貳拾圓		山本俊吉
同			同		
千四百拾圓	吳海軍病院齒科治療業務囑託	藤田敬一	千六百五拾圓		木原大策
千八百貳拾圓	吳海軍工廠技術業務囑託	的野良四郎	同		中坊七之助
千六百五拾圓	吳海軍工廠業務囑託	多田美朝	千七百七拾圓	吳海軍工廠海軍共濟組合事務囑託	山下悟
千貳百六拾圓	同	藤野太七	同		中村精一
同			千六百貳拾圓		
千貳百六拾圓		中村芳藏	同		白石借之助
同			千百拾圓		
千貳百圓		清水源一	同		濱野喜太郎
			貳千貳百參拾圓		

海軍公報 (部内限) 號外

五

0268

千八百貳拾圓	同	藤本 遵	千貳百圓	同	河原 鐵熊
千八百貳拾圓	同	富永 忠人	千貳百圓	佐世保海軍軍需部業務囑託	松井 仁市
千四百七拾圓	同	小田 新	千貳拾圓	第二十一海軍航空廠業務囑託	松井 良吉
千六百五拾圓	同	門 敏雄	千六百參拾參圓	佐世保海軍工廠工具養成所教務囑託	安藤 龜治郎
千八拾圓	廣海軍工廠業務囑託	麻植 種次郎	千貳百六拾圓	同	岡本 享平
貳千貳百參拾圓	廣海軍工廠海軍共濟組合事務囑託	谷本 金太郎	九百圓	同	川崎 佐一
九百圓	第三海軍燃料廠業務囑託	小倉 時一	九百圓	同	松尾 縫藏
貳千九百六拾圓	第三海軍燃料廠海軍共濟組合事務囑託	登坂 清	千參百八拾圓	佐世保海軍工廠業務囑託	西原 伊之助
千四百四圓	佐世保海軍人事部事務囑託	一ノ瀬 英太	千貳百圓	同	上道 泰次
千貳百六拾圓	佐世保海軍軍需部事務囑託	襲手 重吉	千百貳拾貳圓	同	吉田 鶴作

0269

同	千八拾圓	清水 幸六
同	千八百貳拾圓	近藤 正英
同	千六百五拾圓	山家 新平
同	千參百圓	岡 忠一
同	千貳百圓	飯田 眞俊
同	參千七百五拾圓	打越 利行
同	千八百貳拾圓	田島 正
同	千貳百圓	高田 尙文
同	千參百圓	南里 權一
同	千貳百圓	松井 正
同	千八拾圓	松尾 源司
同	貳千參百圓	杉本 宗二郎
同	八百四拾圓	藤田 清太郎
同	貳千拾圓	坪内 主計
同	五千貳百五拾圓	外田 義三
同	參千五百圓	瀬戸口 邦夫
同	參千圓	瀬野 尙憲
同	千六百五拾圓	谷 文一
同	千四百七拾圓	田中 宏

海軍公報 (部内限) 號外

七

0270

同	神谷 守之
千八百貳拾圓	
第三海軍火藥廠業務囑託	
千四百拾六圓	二宮 忠吉
新潟地方海軍人事部業務囑託	
九百圓	田村 清次郎
大湊海軍病院海軍共濟組合事務囑託	
貳千百拾圓	松木 幹三郎
馬公海軍病院齒科治療業務囑託	
貳千百拾圓	前田 協
旅順海軍病院齒科治療業務囑託	
貳千貳百參拾圓	北川 正夫
南支海軍特務部事務囑託	
貳千六百七拾圓	町田 利勝

自今報酬年額 (各頭書ノ通) ヲ給ス (海軍省)

0271

(限 内 部)

海軍公報(部内限)第三千九百十七號

昭和十六年十月八日(水)

海軍大臣官房

○令 達

海 軍 大 臣

官房第五二七七號

昭和十六年度歳出科目中左ノ通追加ス

昭和十六年十月七日

臨 時 部

海 軍 大 臣

水陸 整備費	軍港 設備費	鎮海要港部 雜設備費	初 度 調 辨 費	節	解 疏	會計科目 電信略號
						ネカ

官房第五二九二號

聯合艦隊所屬中特設工作艦山彦丸ニ於ケル工員ノ取扱
並ニ通常物品及工事費ノ整理ニ關シテハ昭和十四年官
房第五一〇七號及同年官房第五一六二號(第一號六項
及七項ヲ除ク)ノ規程ヲ準用ス

昭和十六年十月八日

○通 牒

人祕第四號ノ三六

昭和十六年十月八日

海軍省人事局長

關係各廳長殿

功績具申書類ニ定例敍勳調書ノ添附並ニ

履歴記註ニ關スル件通牒

昭和十五年四月二十九日以後ノ功績ニ付具申ヲ爲ス際
ハ同書類ニ本年人祕第四號ノ三五(六月五日海軍)ニ依ル
敍勳調書(書例中死亡年月日ヲ海軍ノ勤務ヲ離レタル日又ハ海軍功
績調査規程第八條ノ手續ヲ爲スベキ事由ノ發生シタル日
ト)ヲ添附スル外第一次行賞ノ發表アリタルモノハ共
ノ賞賜ヲ左記ニ依リ履歴書ニ記註シ軍人以外ノ者ニ對
シテハ更ニ昭和十二年七月七日以降同十五年四月二十
八日迄ノ略歴ヲ添附ノコトニ取計相成度

海軍公報(部内限)第三千九百十七號

昭和十六年十月八日

一三二一

0272

記

一、第一次行賞ニ依ル賞賜ノ記註要領

左例ニ依リ一般記事欄ニ記入ス、尙勳等功級欄ニモ所定ノ通記入スルモノトス

〔例一〕

昭 和 十 五 年 四 月 二 十 九 日	支那事變ノ功ニ依リ勳八等旭日章及賜金參百圓 <small>(御沙汰書裏面番 號一六八五六)</small>
同	支那事變從軍記章授與

〔例二〕

昭 和 十 五 年 四 月 二 十 九 日	支那事變ノ功ニ依リ賜金七拾圓 <small>(御沙汰書裏面番 號三六二八五)</small>
同	支那事變從軍記章授與

〔例三〕

昭 和 十 五 年 四 月 二 十 九 日	支那事變ノ勤勞ニ依リ金四拾圓賜與 <small>(辭令書裏面番 號三三一二六)</small>
---	--

二、略歴作成要領

左ノ書例ニ依リ昭和十二年七月七日ヨリ同十五年四月二十八日迄ノ間ニ於テ支那事變ニ關シ功績アリト認メラルル勤務ヲ洩ナク記載ス

〔書例〕

勤務廳	期	間	身分	記	事
佐世保工廠	自十三、一七	至十三、一七	二等工員		
陸軍何何部隊	自十三、一六	至同、一六	歩兵上等兵	召集、事變地出征	
	自十四、一二	至十四、一二	官役人夫	不就職 <small>但シ在郷軍人会佐世保市中央分會員トシテ事變關係業務ニ盡力</small>	
佐世保建築部	自十四、一二	至十五、二一	臨時雇員		
佐世保市役所	自十五、二三	至同、二三	筆生		
佐世保港務部	自十五、四	至同、二八			

海人第一四二號

昭和十六年十月七日

海軍省人事局

部内各廳御中

新任士官並ニ同少尉候補生ニ對スル現役

海軍士官名簿電報符ノ件通知

九月十五日附任命セラレタル海軍軍醫科、藥劑科、造船科、造機科、造兵科士官、同少尉候補生ニ對スル電

報符ヲ左記ノ通定メラレ候

記

軍醫中尉石田正統ヲ「S一三二五」、同竹内幸孝ヲ「S一三〇一」ノ二、軍醫少尉石井正二ヲ「S一三三四」、同栗原敏三ヲ「S一三六〇」ノ二、藥劑中尉荒谷文雄ヲ「S一三三二」、藥劑少尉中島七郎ヲ「S一三三二九」、造船中尉上村英明ヲ「C一六六」、造船少尉候補生遠藤春夫ヲ「C一三二〇」、造機中尉淺輪 靖ヲ「O五一九」、造

海軍公報(部内限)第三千九百十七號

昭和十六年十月八日

一三二三

機少尉候補生岩下 登ヲ「C六一九」、造兵中尉眞部三郎ヲ「C一三二七」、造兵少尉候補生岡田忠男ヲ「C一七三〇」トシ各任命順序ニ從ヒ順次相當番號ヲ附與ス

○ 辭 令

海軍技術會議員 櫻井 金藏
海軍機關中佐

海軍艦政本部技術會議員ヲ命ス(附海軍省)

(各通)

海軍艦政本部造船監 日色 謹爾
海軍艦政本部造船監 督官海軍機關中佐 松崎 正康
兼テ勞務ニ關シ監理長ノ命ヲ承ケ服務スヘシ

海軍航空本部技術會議員ヲ免ス(以上附同)

海軍中佐 林 孝 善

第二課勤務ヲ命ス(附海軍省兵備局)

海軍主計中佐 深谷 小平
名古屋海軍監督官事務所ニ要スル俸給、旅費及手當支拂ノ爲資金前渡官吏ヲ命ス

海軍主計中佐 清水 新一
資金前渡官吏ヲ免ス(以上附支出官 海軍省經理)

局長)

技術部第一課勤務ヲ命ス 海軍技師 高須 孔武
主トシテ在東京監督長ノ命ヲ承ケ服務スヘシ(附海軍航空本部)

海軍書記 神谷 暉
總務部第一課勤務ヲ命ス(附同)

海軍艦政本部造船造兵監 善 木 豊
督官海軍主計中佐
通常物品(海軍工作應外ニ於テ保管出納スル臨時軍
事費支辨直買材料)會計官吏ヲ免ス

海軍艦政本部造船造兵監 青 木 益 次
督官海軍主計少佐
通常物品(海軍工作應外ニ於テ保管出納スル臨時軍
事費支辨直買材料)會計官吏ヲ命ス(以上附海軍艦
政本部通常物品出納命令官)

○ 雜 款

○將旗移揚
佐世保防備戰隊司令官ハ十月三日將旗ヲ一時富津丸ヨリ平島ニ移揚セリ

<p>○旗艦變更 第三潜水戰隊司令官ハ十月二日旗艦ヲ大鯨ヨリ伊號第八潜水艦ニ變更セリ</p> <p>第二艦隊司令官ハ十月六日旗艦ヲ摩耶ヨリ愛宕ニ變更セリ</p>	<p>○將旗復歸 第十七戰隊司令官ハ十月六日將旗ヲ八重山ヨリ嚴島ニ復歸セリ</p>	<p>○司令驅逐艦一時變更 第十三驅逐隊司令ハ十月三日司令驅逐艦ヲ一時吳竹ヨリ若竹ニ變更セリ</p>	<p>○司令潜水艦變更 第九潜水隊司令ハ九月二十九日司令潜水艦ヲ伊號第二百二十三潜水艦ヨリ伊號第二百二十四潜水艦ニ復歸セリ</p>	<p>○司令潜水艦一時變更 第七潜水隊司令ハ十月四日司令潜水艦ヲ一時伊號第二潜水艦ヨリ伊號第三潜水艦ニ變更セリ</p>	<p>○司令潜水艦復歸 第二潜水隊司令ハ九月二十四日司令潜水艦ヲ伊號第十九潜水艦ヨリ伊號第十八潜水艦ニ復歸セリ</p>
<p>第二十八潜水隊司令ハ十月二日司令潜水艦ヲ伊號第六十潜水艦ヨリ伊號第五十九潜水艦ニ復歸セリ</p> <p>○郵便物發送先 大島根據地隊司令部宛 佐世保郵便局氣付 海軍大野一郎部隊司令部 當隊宛郵便物ハ左記ニ依リ發送相成度</p>	<p>記 横須賀海兵團内 岡野部隊 追テ當隊轉入者ニ對スル給與通牒ハ轉出ノ際本人ニ持參セシメラレ度 (第七防備隊)</p>	<p>第六十一海軍航空廠宛 臺灣高雄州岡山郡岡山街</p>	<p>鎮海防備戰隊司令部宛 朝鮮慶尙南道鎮海邑 鎮海防備隊司令部</p>	<p>第一海軍航空廠宛 茨城縣稻敷郡阿見村</p>	<p>○開廳 第六十一海軍航空廠十月一日左記ニ開廳セリ 臺灣高雄州岡山郡岡山街</p>

0276

追テ下車驛ハ高雄州岡山驛(急行停車)

第一海軍航空廠十月一日左記ニ開應セリ

記

茨城縣稻敷郡阿見村

追テ下車驛ハ常磐線荒川沖驛

○事務開始

鎮海防備戰隊司令部ハ十月一日鎮海防備隊内ニ於テ事務ヲ開始セリ

○事務所撤去

高雄海軍航空廠(假稱)設立準備員事務所ヲ九月三十日撤去セリ

霞ヶ浦海軍航空廠(假稱)設立準備員事務所ハ九月三十日撤去セリ

臺南海軍航空隊(假稱)設立準備員事務所ヲ十月一日撤去セリ

第二芙蓉丸事務所ヲ十月六日撤去セリ

○特務艦襟裳行動豫定

地名 着

發

馬公 十月十六日 十月十一日 十九日 吳

横須賀 二十一日

○徵備船山霜丸行動豫定

地名 着

吳 十月六日 十月五日

長崎 十月七日 十月七日

佐世保 十月十一日 十月八日

横須賀 十月十一日 十月八日

○事務引繼 名古屋海軍監督官事務所資金前渡官吏十月三日事務引繼ヲ完了ス

前任 海軍主計中佐 清水新一
後任 同 深谷小平

○ 艦船所在

▲印ハ「ハカ」ノ
指定ヲ要セズ

十月七日午前十時

【横須賀】

春日▲、劍崎▲、山城▲、神威、赤城、瑞穂、
蒼龍、長門、高雄
野分、舞風、秋雲
驅潛特五三▲

知床、野島

【長浦】

(津輕)▲、(伊三三)▲、(伊三七)▲
掃一、掃二、掃三、掃四
驅潛一五、驅潛二三、驅潛一四
哨一▲、哨二▲

【横濱】

國後
(筑紫)▲、(驅潛二三)▲
浦賀▲、湖、漣
(風雲)▲

【石川島】

驅潛一、驅潛二
館山▲、澤風

【大湊】

石垣
神風、野風、波風、沼風
哨三四、哨三五

【吳】

淺間▲、八雲▲、鳳翔、伊勢、大井、比叡
大泊
若竹、吳竹、早苗、濱風
呂五七▲、呂五八▲、呂五九▲、伊五二、伊五三▲
伊五四、伊五五▲、伊五八、伊二一
掃一七、掃一八
驅潛七、驅潛九、驅潛一九、驅潛二〇、驅潛二一

【大 阪】

哨四六▲、哨三三、哨三三
早鞆、佐多
(日進)▲、(伊二七)▲、(伊三五)▲、(伊七六)▲
矢風
(伊良湖)▲、(伊一〇〇)▲、(伊二五)▲、(伊三二)▲
(伊四二)▲、(伊一一)▲、(秋津洲)▲
(驅潛二三)▲、(若鷹)▲

【相 生】

隱戸
伊一七、伊二〇
哨三一

【舞 鶴】

吾妻▲、利根、筑摩、口多摩、木曾、
長良、八丈
薄雲▲、夕風、秋風、羽風、太刀風
鳩、鷺、初雁、真鶴、友鶴、千鳥
呂三四▲
哨三六▲、哨三七▲

【佐世保】

夕雲▲、(秋月)▲
金剛、榛名、北上、足柄、瑞鳳、能登呂、
望月、睦月、如月、彌生、沖風、水無月、
三月月
呂三〇▲、呂三一▲、呂三二▲、呂三三▲、呂六〇▲
呂六六▲、呂六五、呂六七、伊五九▲、伊六〇▲
掃六、掃五、掃二、掃七、掃八、掃九、
掃一〇、掃一一
驅潛四、驅潛五、驅潛六、驅潛二六、
驅潛一七、驅潛一八、驅潛特五一▲

海軍公報(部内限) 第三千九百十七號

昭和十六年十月八日

一三二七

0278

【長崎】

哨三九、哨三八、
敷島▲襟裳
(伊二四)▲(伊二九)▲(伊三九)▲(伊四三)▲
驅潜特五二▲
櫻野

【鎮海】

朝顔、峯風、芙蓉
出雲、宇治、安宅、二見、伏見、比良、熱海、
鳥羽、勢多、堅田、保津、隅田、名取、
陸奥、嵯峨、橋立、磐手、香椎、占守、
日向、霧島、古鷹、大鯨、扶桑、青葉、
衣笠、加古、川内、龍驤、千歲、
摩耶、愛宕、鳥海、妙高、羽黑、那智、
熊野、三隈、最上、鈴谷、那珂、鹿島、
飛龍、白鷹、蒼鷹、初鷹、天龍、龍田、
夕張、迅鯨、勝利、駒橋、沖島、常磐、
阿武隈、長鯨、五十鈴、加賀、神通、
翔鶴、鬼怒、由良、八重山、嚴島、
球磨、瑞鶴

村雨、春雨、五月雨、沙風、帆風、
春風、大潮、荒潮、朝潮、滿潮、朝雲、
峯雲、山雲、夏雲、初雪、白雪、吹雪、
白雲、東雲、叢雲、綾波、磯波、敷波、
浦波、狹霧、夕霧、天霧、若葉、初霜、
子日、初春、文月、皐月、長月、菊月、
夕月、卯月、曉、響、電、栗、梅、蓮、
刈萱、朧、早潮、親潮、夏潮、黑潮、
雪風、時津風、天津風、初風、不知火、
霞、陽炎、霞、谷風、浦風、磯風、朝風、

【航海中】

追風、疾風、夕風、白露、夕暮、時雨、
曙、有明、風、萩風、雷、海風、江風、
山風、涼風
呂六二、呂六一、呂六八、呂六三、呂六四、
伊三、伊二、伊一、伊六、伊四、伊五、
伊七、伊八、伊九、伊二五、伊二六、
伊一八、伊一九、伊二二、伊二三、伊二四、
伊六五、伊六四、伊六六、伊五七、伊五六、
伊六一、伊六二、伊六八、伊六九、伊七〇、
伊七一、伊七二、伊七三、伊七四、伊七五、
伊一二三、伊一二四、伊一二五、伊一二六、
伊一二七、伊一二八、伊一二九、
伊一三〇、伊一三一、伊一三二、伊一三三、
伊一三四、伊一三五、伊一三六、伊一三七、
伊一三八、伊一三九、伊一四〇、伊一四一、
伊一四二、伊一四三、伊一四四、伊一四五、
伊一四六、伊一四七、伊一四八、伊一四九、
伊一五〇、伊一五一、伊一五二、伊一五三、
伊一五四、伊一五五、伊一五六、伊一五七、
伊一五八、伊一五九、伊一六〇、伊一六一、
伊一六二、伊一六三、伊一六四、伊一六五、
伊一六六、伊一六七、伊一六八、伊一六九、
伊一七〇、伊一七一、伊一七二、伊一七三、
伊一七四、伊一七五、伊一七六、伊一七七、
伊一七八、伊一七九、伊一八〇、伊一八一、
伊一八二、伊一八三、伊一八四、伊一八五、
伊一八六、伊一八七、伊一八八、伊一八九、
伊一九〇、伊一九一、伊一九二、伊一九三、
伊一九四、伊一九五、伊一九六、伊一九七、
伊一九八、伊一九九、伊二〇〇、伊二〇一、
伊二〇二、伊二〇三、伊二〇四、伊二〇五、
伊二〇六、伊二〇七、伊二〇八、伊二〇九、
伊二一〇、伊二一一、伊二一二、伊二一三、
伊二一四、伊二一五、伊二一六、伊二一七、
伊二一八、伊二一九、伊二二〇、伊二二一、
伊二二二、伊二二三、伊二二四、伊二二五、
伊二二六、伊二二七、伊二二八、伊二二九、
伊二三〇、伊二三一、伊二三二、伊二三三、
伊二三四、伊二三五、伊二三六、伊二三七、
伊二三八、伊二三九、伊二四〇、伊二四一、
伊二四二、伊二四三、伊二四四、伊二四五、
伊二四六、伊二四七、伊二四八、伊二四九、
伊二五〇、伊二五一、伊二五二、伊二五三、
伊二五四、伊二五五、伊二五六、伊二五七、
伊二五八、伊二五九、伊二六〇、伊二六一、
伊二六二、伊二六三、伊二六四、伊二六五、
伊二六六、伊二六七、伊二六八、伊二六九、
伊二七〇、伊二七一、伊二七二、伊二七三、
伊二七四、伊二七五、伊二七六、伊二七七、
伊二七八、伊二七九、伊二八〇、伊二八一、
伊二八二、伊二八三、伊二八四、伊二八五、
伊二八六、伊二八七、伊二八八、伊二八九、
伊二九〇、伊二九一、伊二九二、伊二九三、
伊二九四、伊二九五、伊二九六、伊二九七、
伊二九八、伊二九九、伊三〇〇、伊三〇一、
伊三〇二、伊三〇三、伊三〇四、伊三〇五、
伊三〇六、伊三〇七、伊三〇八、伊三〇九、
伊三一〇、伊三一〇〇

千代田 (一日吳發—作業地)
石廊 (五日橫須賀發—吳)
松風 (六日橫須賀發—作業地)
尻矢 (六日徳山發—橫須賀)
朝風、旗風、夕立 (七日橫須賀發—作業地)
驅潜三 (七日橫須賀發—佐世保)

(限 内 部)

海軍公報 (部内限) 第三千九百十八號

昭和十六年十月九日(木)

海軍大臣官房

○令 達

官房機密第九三二六號

當分ノ間海軍兵學校、海軍機關學校及海軍經理學校生徒並ニ海軍航空豫備學生ニ交付又ハ給與スル被服物品ノ定數其ノ他ニ關シ左ノ通定ム

昭和十六年十月九日

海 軍 大 臣

- 一、海軍兵學校、海軍機關學校及海軍經理學校生徒ニ交付又ハ給與スル被服物品ノ時期及定數ハ海軍給與令施行細則第九十條ノ二第一項及第八表ノ三ノ規定ニ拘ラズ別表第一ニ依ル
- 二、前號ニ依リ交付シタル被服物品ハ海軍給與令施行細則第九十條ノ二第二項ノ規定ニ拘ラズ別表第二ニ掲グルモノヲ除キ之ヲ還付セシメズ
- 三、陸戰帽及陸戰事業服ハ昭和十七年一月在校生徒ニ各一個(組)宛之ヲ交付ス其ノ制式ハ左表ニ依ル

品 名	品 質	制 式
陸 戰 帽	地質褐青色綾木綿其ノ他ハ戰鬪帽ニ同シ	
陸戰事業服	地質褐青色綾木綿、准士官以上作業服ニ同シ但シ襟章ヲ附セズ	

四、海軍航空豫備學生ニ交付シタル被服物品ハ海軍給與令施行細則第九十條ノ三第二項ノ規定ニ拘ラズ別表第三ニ掲グルモノヲ除キ之ヲ還付セシメズ

附 則

- 現ニ海軍兵學校、海軍機關學校及海軍經理學校ニ在校スル生徒ニハ左ノ區分ニ依リ交付又ハ給與ス
- 一、第一年ノ者
 - 一年經過後ニ交付又ハ給與スルモノノ中帽日覆二個、夏褌袴、夏袴下及カラ一各一個ノ外ハ交付又ハ給與セズ
- 二、第二年ノ者

海軍公報 (部内限) 第三千九百十八號

昭和十六年十月九日

一三二九

0280

二年經過後ニ交付又ハ給與スルモノノ中夏襦袢、夏袴下及カラー各一個ノ外ハ交付又ハ給與セズ
(別表三葉添)

○通牒

教育機密第二四一號

昭和十六年十月九日

内令提
要登載

海軍省人事局長
海軍省教育局長

海軍經理學校長
各鎮守府參謀長 殿

各種特技兵(假稱)銓衡試験及特技章付
與ニ關スル件ニ關スル件通牒

當分ノ間昭和十五年教育機密第七八號通牒首題ノ件別紙中銓衡試験合格區分、被銓衡試験者ノ範圍、銓衡試験ノ實施又ハ特技章ノ付與ニ關シ左記ノ通特例ヲ定メラレ候條了知相成度

一、銓衡試験合格區分

記

合	格
現役滿期ヲ志望スル者	現役滿期ヲ志望セザル者
筆答試験ノ合計得點其ノ全點ノ百分ノ四〇以上ニシテ總計得點ヲ總計全點ノ百分ノ六〇以上ヲ得タル者ヲ合格トス	

二、被銓衡試験者ノ範圍

筆答試験施行期日ノ前月末日迄ニ特技兵トシテ各部ニ服務中ノ者ヲ被銓衡試験者トス

三、銓衡試験ノ實施(試験成績表ノ調製)

特技兵(假稱)銓衡試験成績表ハ現役滿期ヲ志望スル者ト現役滿期ヲ志望セザル者トノ二様ニ區分調製セズ各種特技兵毎ニ別紙トシ銓衡試験成績順序ニ依リ夫々調製スルモノトス

四、特技章ノ付與

在籍鎮守府司令長官ハ當該鎮守府ニ於ケル銓衡試験合格者成績順位決定ノ都度速ニ特技章ヲ付與スルモノトス

五、前各號ハ昭和十六年十一月三十日ヨリ之ヲ適用ス同日以前ニ銓衡試験ニ合格シタル特技兵中同日現ニ

海軍特修兵又ハ各種練習生教程ヲ履修中ニ非ザル者ニ對シ在籍鎮守府司令長官ハ同日附出身特技別ニ從ヒ其ノ全員ヲ海軍特修兵ト爲シ之ニ普通科特技章ヲ付與スルコトヲ得

艦本第八號ノ五二五三

昭和十六年十月二日

海軍艦政本部長

關係各廳長殿

艦艇ニ造船造兵修理用材料供給ノ件中改正ノ件通牒

昭和十五年二月五日艦本第一八八三號首題通牒別紙第一中艦種航空母艦區分「赤城、加賀」ノ欄ニ「翔鶴、瑞鶴」ヲ加フ

○ 辭 令

内務技師 小池 啓吉

海南警備府附ヲ命ス(九月七日海軍省)

海軍技術會議議員海軍中佐 杉浦 矩郎

海軍艦政本部技術會議議員ヲ命ス

海軍航空本部技術會議議員ヲ命ス

(各通)

海南警備府附ヲ命ス

拓務技師 淺川 共二
拓務理事官 加藤 義明

遞信局書記 原口 次男

第七海軍軍用郵便所員ヲ命ス

事務員 山口 庄三郎

同 志土地 藤雄

集配員 菅井 秀雄

同 牟田口 猛雄

同 赤尾 里治

同 安部 二男

(各通)

第七海軍軍用郵便所員ヲ命ス

但シ身分ノ取扱ハ雇員トス

事務員 都甲 軍喜

第六海軍軍用郵便所員ヲ命ス

但シ身分ノ取扱ハ雇員トス(以上各同)

集配員 鈴木 勝雄

第三海軍軍用郵便所員ヲ免ス

同 青野 倉之助

第五海軍軍用郵便所員ヲ免ス(以上各同)

軍令部課長海軍中佐 杉浦 矩郎
第二部第三課長ヲ命ス

軍令部出仕海軍中佐 寺嶋 昌善
第一部第一課勤務ヲ命ス(以上ハ同軍令部)

同 後藤 實二
報道部第一課勤務ヲ命ス(同大本營海軍部)

海軍中佐 杉浦 矩郎
參謀部第二部第三課長ヲ命ス

同 寺嶋 昌善
參謀部第一部第一課勤務ヲ命ス

同 田代 格
報道部第二課兼務ヲ免ス

海軍少佐 唐木 和也
報道部第二課兼務ヲ命ス

同 濱田 昇一
報道部第一課勤務ヲ命ス(以上ハ同)

海軍中佐 寺嶋 昌善
第一課兼第二課勤務ヲ命ス

海軍少佐 濱田 昇一
第四課勤務ヲ命ス(以上ハ同海軍省軍務局)

海軍主計大尉 粟林 二郎
第一課兼第二課第三課勤務ヲ命ス(同海軍省軍務局)

海軍機關少佐 江島 武夫
技術部第二課勤務ヲ命ス(同海軍航空本部)

○ 雜 款

○將旗掲揚
羅津防備隊司令官ハ十月六日將旗ヲ羅津防備隊ニ掲揚セリ(附誌)

○將旗移揚
支那方面艦隊司令官ハ十月七日將旗ヲ飛鳥ニ移揚、同八日出雲ニ復歸セリ

○將旗一時移揚
第五根據地隊司令官ハ十月六日將旗ヲ一時勝泳丸ニ移揚セリ

○將旗一時移揚
南遣艦隊司令官ハ十月六日將旗ヲ一時陸上ニ移揚セリ

○將旗復歸
第十二聯合航空隊司令官ハ十月四日將旗ヲ博多海軍航

空隊ヨリ大分海軍航空隊ニ復歸セリ

○司令砲艦變更
第八砲艦隊司令ハ十月五日司令砲艦ヲ朝海丸ヨリ大丸ニ變更セリ

○司令艇變更
第十六掃海隊司令ハ十月七日司令艇ヲ第五玉丸ニ變更セリ

○郵便物發送先
第十七航空隊宛
自今 横須賀郵便局氣付 五〇九二

當隊宛郵便物ハ左記宛發送相成度

愛知縣西加茂郡保見村伊保原
追テ當隊ハ郵便區域外ニ付速達料金三十錢ヲ要シ候
尙爲替事務ハ保見郵便局ニテ取扱居候條爲念
(霞ヶ浦海軍航空隊名古屋分遣隊)

○郵便物宛先ニ關スル件
本船ニ送付ノ郵便物ニテ宛先ヲ唯「朝日丸」トスル向
多キ爲特設掃海艇朝日丸ト誤送多ク事務處理上支障尠
カラズ自今本船宛ハ必ズ
「病院船 朝日丸」トセラレ度

(特設病院航朝日丸)

特設巡洋艦金剛丸ト當隊特設掃海艇金剛丸ハ同名ノ爲
郵便物ノ誤達等甚ダ多ク事務處理上不便不勤候條自今
發送ニ當リテハ其ノ肩書ニ十分注意ノ上左記ノ通發送
相成度

播磨造船所氣付 金剛丸艦長
横須賀郵便局氣付 金剛丸艇長
(第二十五掃海隊)

○練習生採用試験問題送付

第八十九期横須賀海軍砲術學校普通科砲術練習生
第三期館山海軍砲術學校普通科砲術練習生
第二十七期普通科普通科水雷科砲術練習生
第十七期普通科普通科水雷科砲術練習生
第八期普通科普通科水雷科砲術練習生
第八期普通科普通科水雷科砲術練習生
採用試験問題
右十月七日左記ノ通發送済、未着ノ向及別ニ必要ノ向
ハ横須賀海軍砲術學校へ至急通知相成度

一、單獨試験施行豫定ノ各部ニハ直送セリ
二、聯合試験用ノモノハ各海軍人事部及各要港部宛送
付
三、聯合試験參加豫定ノ艦船ニシテ行動豫定變更ノ爲

聯合試驗參加不能ノ向ニ對スル分トシテ前記宛單獨
試驗用若干部送付シ置ケリ

- (横須賀海軍砲術學校)
- (海軍水雷學校)
- (海軍機雷學校)
- (海軍航海學校)

○第二海軍航空廠宛ノ造修、補給ニ關スル電報ハ當分
ノ間通報欄ニ第二海軍航空廠器材部長ヲ指定サレ度
(第二海軍航空廠)

○開隊
霞ヶ浦海軍航空隊名古屋分遣隊十月一日左記ニ開隊セ
リ
愛知縣西加茂郡保見村伊保原
記

0285

品名	入校時	一年經過後	二年經過後	三年經過後
禮衣袴	一			
軍衣袴	一	一		一
夏衣袴	二	一	一	
外套	一			
軍帽	二			
陸戰帽	一			
帽覆	四	二		
襦袢	三			
夏襦袢	三	二	二	一
白シャツ	二	一		
袴下	三			
夏袴下	三	二	二	一
事業服	二	一	一	
陸戰事業服	一	一		
脚絆	一			
カラ	三	三	二	
手袋	二		一	
袴釣	二		一	
靴	四	一	一	一
運動靴	二			
靴下	一八	一八	二八	九
短剣	一			
劍帶	一			
軍帽前章	二			
肩章	二	一		
寝衣	四			

別表第一(第一號ニ依リ海軍生徒ニ交付又ハ給與スル定數)

(昭和十六年十月九日海軍公報(部内限))

別表第二(第二號ニ依リ海軍生徒ヨリ還付セシムベキ品種、數量)

(昭和十六年十月九日海軍公報(部内限))

夏 襦 袢	襦 袢	陸 戰 帽	軍 帽	夏 衣 袴	品 名	還 付 數 量
五	一	一	一	一		
肩 章	軍 帽 前 章	事 業 服	夏 袴 下	袴 下	品 名	還 付 數 量
三	二	四	五	一		

0287

別表第三(第四號ニ依リ航空豫備學生ヨリ還付セシムベキ品種、數量)

(昭和十六年十月九日海軍公報(部内限))

考 備 一、豫備員ニ任用セラレ直ニ召集セラルル者ノ還付スル被服物品ハ本表中事業服、軍帽前章 及肩章ニ限ル	袴	夏 襦 袴	襦 袴	軍 帽	外 套	夏 衣 袴	軍 衣 袴	品 名	還 付 數 量
		下	三	一	一	一	一	一	夏 袴 下
		寝 衣	肩 章	軍 帽 前 章	脚 絆	事 業 服			
		二	二	二	一	二			

0288

○ 艦船所在

▲印ハ「ハカ」ノ指定ヲ要セズ

十月九日午前十時

【横須賀】

春日▲、劍崎▲、山城▲、神威、赤城、瑞穂、蒼龍、高雄、野分、舞風、秋雲、驅潛特五▲

知床、野島

【長浦】

(津輕)▲(伊三)▲(伊三七)▲
掃一、掃二、掃三、掃四
驅潛一五、驅潛二三、驅潛二四
哨一▲、哨二▲

【横濱】

國後
(筑紫)▲(驅潛三)▲
浦賀▲、潮、漣、(風雲)▲

【石川島】

驅潛一、驅潛二、館山、澤風、石垣

【大湊】

神風、野風、波風、沼風、哨三四、哨三五

【吳】

淺間▲、八雲▲、鳳翔、伊勢、大井、若竹、吳竹、早苗、伊一、伊二、呂五七▲、呂五八▲、呂五九、伊五二、伊五三▲、伊五四、伊五五▲、伊五八、掃一七、掃一八、驅潛七、驅潛九、驅潛一九、驅潛二〇、驅潛二一

【大坂】

哨四六▲、哨三三、哨三三、早鞆、佐多、(日進)▲(伊二七)▲(伊三五)▲(伊七六)▲、(伊良湖)▲(伊二〇)▲(伊二五)▲(伊三一)▲、(伊四二)▲(伊二一)▲(秋津洲)▲、(若鷹)▲

【相伯】

驅潛三三▲、(若鷹)▲、哨三一、伊一七、伊二〇

【舞鶴】

吾妻▲、利根、筑摩、多摩、木曾、長良、八丈、薄雲▲、秋風、羽風、太刀風、鷗、鷺、初雁、真鶴、友鶴、千鳥、哨三六▲、哨三七

【佐世保】

夕雲▲(秋月)▲、金剛、榛名、比叡、北上、足柄、瑞鳳、能登呂、望月、睦月、如月、彌生、沖風、水無月、三日月、呂三〇▲、呂三一▲、呂三二▲、呂三三▲、呂六〇、伊五九▲、伊六〇▲

【伊五九】

伊五九▲、伊六〇▲、驅潛六、驅潛二六、驅潛一七、驅潛一八、驅潛特五一▲

【哨三九】

哨三九、哨三八、敷島▲、襟裳

海軍公報(部内限) 第三千九百十八號 昭和十六年十月九日

一三三五

【長崎】 驅潜特五三

櫻野

【鎮海】 朝顔、峯風、芙蓉

【作業地】 出雲、宇治、安宅、二見、伏見、比良、熱海、

鳥羽、勢多、堅田、保津、隅田、名取、

陸奥、長門、嵯峨、橋立、磐手、香椎、

占守、日向、霧島、古鷹、大鯨、扶桑、

青葉、衣笠、加古、川内、龍驤、千歲、

千代田、摩耶、愛宕、鳥海、妙高、羽黑、

那智、熊野、三隈、最上、鈴谷、那珂、

龍島、飛龍、白鷹、蒼鷹、初鷹、天龍、

龍田、夕張、迅鯨、勝力、駒橋、沖島、

常磐、阿武隈、長鯨、五十鈴、加賀、

神通、翔鶴、鬼怒、由良、八重山、

嚴島、球磨、瑞鶴

村雨、春雨、五月雨、沙風、帆風、

春風、大潮、荒潮、朝潮、滿潮、朝雲、

峯雲、山雲、夏雲、初雪、白雪、吹雪、

白雲、東雲、叢雲、綾波、磯波、歌波、

浦波、狹霧、夕霧、天霧、若葉、初霜、

子日、初春、文月、皋月、長月、菊月、

夕月、卯月、曉、響、電、栗、梅、蓮、

刈萱、朧、早潮、親潮、夏潮、黑潮、

雪風、時津風、天津風、初風、不知火、

霞、陽炎、霞、谷風、浦風、濱風、磯風、

朝風、追風、疾風、夕風、白露、夕暮、

時雨、曙、有明、嵐、萩風、雷、海風、

江風、山風、涼風

鷓鴣、隼、鶴、雌、雁

呂六二、呂六一、呂六六、呂六五、呂六七、

呂六八、呂六三、呂六四、伊三、伊六、

伊四、伊五、伊七、伊八、伊九、

伊一五、伊一六、伊一八、伊一九、伊二二、

伊二二、伊二三、伊二五、伊二六、

伊五七、伊五六、伊六一、伊六二、伊六八、

伊六九、伊七〇、伊七一、伊七三、伊七三、

伊七四、伊七五、伊二二、伊二三、

伊一四、伊二三

伊一六、掃五、掃三、掃一四、掃一五、掃一六、

掃一九

驅潜四、驅潜五、驅潜八、驅潜三、

驅潜二、驅潜一〇

宗谷、攝津、朝日、室戶、明石、鶴見、

問宮

【航海中】

石廊 (五日横須賀發一吳)

松風 (六日横須賀發一作業地)

尻矢 (六日徳山發一横須賀)

朝風、旗風、夕立 (七日横須賀發一作業地)

驅潜三 (七日横須賀發一佐世保)

夕風 (八日舞鶴發一作業地)

掃七、掃八、掃九、掃一〇、掃一一、掃一二 (八日佐

世保發一作業地)

隱戸 (八日徳山發一佐世保)

0290

(限 内 部)

海軍公報 (部内限) 第三千九百十九號

海軍大臣官房

昭和十六年十月十日 (金)

○ 令 達

官房機密第九三四九號
艦船造修規則第二百三十二條ノ規定ニ依リ潜水艦被透視防止ノ爲其ノ船體上面ヲ黑色又ハ紺青色ニ塗粧スル場合之ニ要スル塗料ハ當分ノ間艦營需品定額表定數外供給豫算外トシ之ガ詳細ニ關シテハ海軍省軍需局長ヲシテ別ニ通牒セシム

昭和十六年十月十日

海軍大臣

官房第五三一六號
海軍各廳ニ於テ學校報國隊員ヲ勤勞ニ從事セシメタル場合ノ給與等ノ取扱ニ關シ左ノ通定ム

昭和十六年十月十日

海軍大臣

一 旅費
旅費ハ左表ニ依リ當該學校ノ指導者ニ之ヲ交付ス

海軍公報 (部内限) 第三千九百十九號

昭和十六年十月十日

一三三七

名 稱 區 分	日 當		交 通 費		計
	日	當	日	當	
學 生	專 門 學 校		上		
	男	女	男	女	
中 等 學 校	下				
	男	女	男	女	
國 民 學 校					
	男	女	男	女	
備 考	三〇	三〇	一〇	四〇	四〇
一	五〇	三五	一五	五〇	六五
二	一五	一五	一五	四五	五〇
三	一五	一五	一五	四五	五〇

備考
一 各廳ニ到著又ハ歸校ノ當日、所定ノ交通費 (鐵道貨、軌道貨、船)ヲ以テ其ノ實費ヲ支辨シ能ハザルトキハ其ノ實費ヲ支給スルコトヲ得
二 本日額ハ二人一日ノ勤勞ニ對スルモノトス半日ノ勤勞ノ場合ハ其ノ半額ヲ支給ス
三 官ノ宿舍ニ起臥ヲ爲シ連日勤勞ニ從事スル場合ハ本表ノ外朝夕食數ニ應ジ一食ニ付二十

0291

五錢以内ノ日當ヲ支給スルコトヲ得

二 治療費

勤務ニ從事中之ニ原因シ傷痍ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リタルトキハ三月以内ニ限リ其ノ治療費ハ官費支辨トス

前項ニ該當スル者死亡シタルトキ又ハ傷痍ヲ受ケタル者ニ扶助金ノ支給ヲ要スルモノト認メタルトキハ其ノ身分ニ應ジ雇員又ハ傭人ト爲シ雇員扶助令又ハ傭人扶助令ヲ適用スルコトヲ得

扶助金算出ノ標準ト爲スベキ給料額ノ決定ニ付テハ其ノ從業應ニ於テ雇員又ハ傭人ニ採用スル場合ノ例ニ依ル

三 經費

當該事業費又ハ臨時軍事費支辨トシ雇員傭人ニ準ジ取扱フモノトス

○ 通牒

軍需機密需第二九五號

昭和十六年十月十日

海軍省軍需局長

各海軍軍需部長殿

潜水艦被透視防止用塗料ニ關スル件通牒

本年官房機密第九三四九號ニ依ル所要塗料ハ左記ニ依リ供給方取計相成度

記

品名	稱	數		量	記事
		稱	數		
ブロード液	上塗	匹	二五—三〇	一五—二〇	本數量 ハ一艦 一回分 ヲ示ス
	下塗	匹	二五—三〇	一五—二〇	
艶消黑色塗具	匹	匹	五〇—七〇	三〇—四〇	一回分 ヲ示ス
	匹	匹	三〇—五〇	二〇—三五	
紺青塗具	匹	匹	三〇—五〇	二〇—三五	

軍需機密需第二九六號

昭和十六年十月十日

海軍省軍需局長

各海軍軍需部長殿

工作長主管金工之部艦營需品消耗品（概

炭）供給ニ關スル件通牒

特設艦船ニ於テ「カスケードタンク」式等ノ給水漉ヲ

0292

裝備ノタメ首題物品ヲ給水漉用トシテ要スル場合ハ定
敷外トシテ供給相成度

○ 辭 令

通信事務官 平塚 運吉
横須賀鎮守府ニ於ケル軍事郵便事務囑託ノ報酬トシ
テ金八拾圓ヲ贈與ス

横須賀鎮守府ニ於ケル軍事郵便事務囑託ヲ解ク(七日前)
海軍省)

内務事務官 門叶 宗雄
海軍省事務囑託ノ報酬トシテ金九拾圓ヲ贈與ス
海軍省事務囑託ヲ解ク

同 鈴木 琢二
海軍省事務ヲ囑託ス(以上ハ同)

同 中倉 五六
海軍省事務ヲ囑託シ部内限判任官待遇トス(五日前同)

海軍中將 古川 鏡三郎
陸軍少將 長岡 壽吉
海軍省事務ヲ囑託ス

從六位勳六等 石坂 敬三郎
海軍省事務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス

陸軍少尉 齋藤 伊之助
海軍省事務ヲ囑託シ部内限判任官待遇トス

正四位勳二等 竹内 可吉
海軍省事務ヲ囑託シ部内限勅任官待遇トス

内務技師 湯山 熊雄
海軍省事務ヲ囑託ス(以上ハ同)

陸軍主計少尉 伊藤 晴一
第二海軍燃料廠合成部ニ於ケル業務ヲ囑託ス

竹田 正
齋藤 浩
第二海軍燃料廠合成部ニ於ケル業務ヲ囑託シ部内限
奏任官待遇トス

第一艦隊齒科治療業務囑託
波多野 淺義

自今報酬年額千四百八拾圓ヲ給ス
中村 常雄

支那方面艦隊ニ於ケル事務ヲ囑託シ部内限奏任官待
遇トス

海軍特務大尉 下田 朋來
第一遣支艦隊ニ於ケル事務ヲ囑託シ報酬年額千五百
圓ヲ給ス

海軍公報(部内限) 第三千九百十九號 昭和十六年十月十日

一三三九

0293

(各通)

桑原博
福地成治

海南警備府ニ於ケル業務ヲ囑託シ部内限委任官待遇
トス(以上同)

○ 雜 款

○ 將旗移揚

第一遣支艦隊司令長官ハ十月七日將旗ヲ漢口方面特別
根據地隊司令部ニ移揚セリ

○ 將旗一時移揚

第五潜水戰隊司令官ハ十月二日將旗ヲ一時りおでかや
ねろ丸ニ移揚、同八日由良ニ復歸セリ

第三戰隊司令官ハ十月六日將旗ヲ一時霧島ニ移揚セリ

○ 代將旗一時移揚

第二根據地隊司令官ハ十月七日代將旗ヲ一時射水丸ヨ
リ阿蘇丸ニ移揚セリ

○ 司令驅潛艇一時變更

第一驅潛艇司令ハ十月六日司令驅潛艇ヲ一時第一號驅
潛艇ヨリ第三號驅潛艇ニ變更セリ

○ 軍需品輸送ニ關スル件照會
吳驛構内貨物ノ回滑ナル消化ヲ期スル爲實質的ニ營部
ニ納入セラルル軍需品ハ營部構内ニ於テ受授シ得ル様
直接營部宛發送相成度

(吳海軍軍需部)

○艦船所在

▲印ハ「ハ」ノ
指定ヲ要セズ

十月十日午前十時

【横須賀】

春日▲、劍崎▲、山城▲、神威、赤城、瑞穂、蒼龍、高雄

野分、舞風、秋雲

驅潜特五三▲

知床、野島、尻矢

(津輕)▲(伊三)▲(伊三七)▲

【長浦】驅潜一五、驅潜二三、驅潜一四

哨一▲

【横濱】

國後

(筑紫)▲(驅潜二三)▲

浦賀

(風雲)▲

【石川島】驅潜一、驅潜二

館山

澤風

大湊

石垣

神風

野風

波風

沼風

哨三四、哨三五

大泊

【吳】

淺間▲、八雲▲、鳳翔、大井

若竹、吳竹、早苗

伊一、伊二、呂五七▲、呂五八▲、呂五九、

伊五三、伊五五▲、伊五四、伊五五▲、伊五八

伊一七、掃一八

驅潜七、驅潜九、驅潜一九、驅潜二〇、驅潜二一

哨四六▲、哨三三、哨三三

【大 阪】

早瀬、佐多

(日進)▲(伊二七)▲(伊三五)▲(伊七六)▲

矢風

(伊良湖)▲(伊一〇)▲(伊二五)▲(伊三二)▲

(伊四二)▲(伊一一)▲(秋津洲)▲

【相 伯】(驅潜三三)▲(若鷹)▲

哨三、伊二〇

【舞 鶴】

吾妻▲、利根、筑摩、口多摩、木曾、

長良、八丈

薄雲▲、秋風、羽風、太刀風

鳩、鷺、初雁、真鶴、友鶴、千鳥

呂三四▲

哨三六▲、哨三七▲

【佐世保】

(夕雲)▲(秋月)▲

金剛、榛名、比叡、北上、足柄、瑞鳳、

能登呂

望月、睦月、如月、彌生、沖風、水無月、

三日月

呂三〇▲、呂三一▲、呂三二▲、呂三三▲、呂六〇、

伊五九▲、伊六〇▲

驅潜六、驅潜一六、驅潜一七、驅潜一八、

驅潜特五一▲

哨三九、哨三八

敷島▲、襟裳、隠戸

(伊二四)▲(伊二九)▲(伊三九)▲(伊四三)▲

海軍公報(部内限)第三千九百十九號

昭和十六年十月十日

一三四一

0295

【長崎】 驅潜特五三

樞野

【鎮海】朝顔、芙蓉、
【作業地】出雲、宇治、安宅、二見、伏見、比良、熱海、
鳥羽、勢多、堅田、保津、隅田、名取、
長門、陸奥、嵯峨、橋立、磐手、香椎、
古守、日向、伊勢、霧島、古鷹、大鯨、
扶桑、青葉、衣笠、加古、川内、龍驤、
千歲、千代田、摩耶、愛宕、鳥海、妙高、
羽黑、那智、熊野、三隈、最上、鈴谷、
那珂、鹿島、飛龍、白鷹、蒼鷹、初鷹、
天龍、龍田、夕張、迅鯨、勝利、駒橋、
沖島、常磐、阿武隈、長鯨、五十鈴、
加賀、神通、翔鶴、鬼怒、由良、
八重山、嚴島、球磨、瑞鶴、
村雨、春雨、五月雨、夕立、沙風、帆風、
春風、大潮、荒潮、朝潮、滿潮、朝雲、
峯雲、山雲、夏雲、初雪、白雪、吹雪、
白雲、東雲、叢雲、綾波、磯波、敷波、
浦波、狹霧、夕霧、天霧、若葉、初霜、
子白、初春、文月、皐月、長月、菊月、
夕月、卯月、曉、響、電、栗、梅、蓮、
刈萱、朧、早潮、親潮、夏潮、黑潮、
雪風、時津風、天津風、初風、不知火、
液、陽炎、霞、谷風、浦風、濱風、磯風、
朝風、追風、疾風、夕風、白露、夕暮、
時雨、曙、有明風、秋風、雷、海風、
江風、山風、涼風

【航海中】

石廊 (五日横須賀發一吳)
松風 (六日横須賀發一作業地)
朝風 (七日横須賀發一作業地)
夕風 (八日舞鶴發一作業地)
掃一、掃二、掃三、掃四 (九日横須賀發一作業地)

伊呂六二、呂六一、呂六六、呂六七、
伊呂六八、呂六三、呂六四、伊三、伊六、
伊四、伊五、伊七、伊八、伊九、
伊一五、伊一六、伊一八、伊一九、伊二二、
伊二三、伊三三、伊六五、伊六四、伊六六、
伊六七、伊五七、伊五六、伊六一、伊六八、
伊六九、伊七〇、伊七一、伊七二、伊七三、
伊七四、伊七五、伊二二、伊二三、
伊二四、伊二三、
掃六、掃五、掃七、掃八、掃九、掃一〇、
掃一一、掃一二、掃一三、掃一四、掃一五、掃一六、
掃一九
驅潜四、驅潜五、驅潜八、驅潜二、
驅潜一、驅潜一〇
哨二
宗谷、攝津、朝日、室戸、明石、鶴見、
間宮

(限 内 部)

海軍公報

(部内限) 第三千九百二十號

昭和十六年十月十一日(土)

海軍大臣官房

○令 達

官房機密第一〇號ノ一二五

昭和十六年十月六日

海軍大臣

記

各鎮守府司令長官
大湊、鎮海、馬公要港部司令官
兵器簿ノ件通達
艦船、學校兵器簿航海長主管之部中左記ノ通改正ス

類別	指定	現兵器簿名稱	改正名稱	記 事
測深儀、測程儀、 探信儀及轉輪羅 針儀之部	改正	檢波電球 (發振電球)	UX 一七一 A	(註) 一、檢波電球、整流電球、發振 電球ヲ真空管ニ改ム 二、雜記ニ舊名稱ニ對シ「…… ヲ代給スルコトヲ得」ト記載 シアルモノハ之ヲ削除ス
	同	同	UX 二二六	
	同	同	UX 二二七	
	同	同	UX 二四〇	
	同	同	UX 二四〇 A	
	同	同	UX 二四五	
同	同	UY 二三四	UY 二四 B	

海軍公報(部内限) 第三千九百二十號 昭和十六年十月十一日

一三四三

0297

同	同	同	同	同
整流電球	同	同	同	同
KX 二八〇	UY 二三九	UY 二三八	UY 二三五	UY 二二七
同	同	同	同	同
KX 八〇	UY 三九A	UY 三八A	UY 三五B	UY 二七

〇 週牒

恩第二六五號

昭和十六年十月十日

海軍省人事局長
海軍省醫務局長

海軍諸例
則登載

關係各廳長殿

傳染病患者及食餌性罹病者多發セル場合ニ
於ケル恩給法上ノ取扱方ニ關スル件通牒

首題ニ關シ自今左記第一號ニ該當スルモノハ恩給法上
公務罹病トシテ取扱ハルベキニ付第二號ニ依リ處理相
成度
追テ昭和八年海人第八八號ハ廢止ノコトト了知相成
度

記

一、艦船、部隊又ハ學校ニ於テ勤務中ノ者左ニ掲グル
各號ノ一ニ該當スルトキ

(イ) 傳染病又ハ流行病(傳染病豫防法第一條及恩給
法施行令第二十二條ニ規定セラルルモノニ限ル以
下同シ) 患者多發ノ爲該病ニ感染シタルモノト確
認セラレタルトキ(初發患者ヲ除ク)

(ロ) 傳染病又ハ流行病患者多發シ其ノ原因ガ兵食ノ
汚染ニ因ルモノト確認セラレタルトキ

(ハ) 食餌性中毒患者多發シ其ノ原因ガ兵食ニ在リト
確認セラレタルトキ

二、處理方法

(イ) 死亡シ又ハ身體ノ障礙ヲ始ス見込ノ者ニ對シテ

0298

ハ恩給取扱手續ニ依リ證明書類（事實證明書ハ第五書式ニ依リ作成シ附屬書類トシテ前號イノモノニ在リテハ初發患者ノ傳染徑路、初發以來ノ發生狀況及本人ガ感染ニ至リタル經過ヲ、同（ロ）及（ハ）場合ニ在リテハ兵食ノ汚染又ハ食餌中毒ヲ確認スルニ至リタル狀況ヲ詳記シタル調書添附ノコト）ヲ進達スルコト

（ロ）右以外ノ者ニ對シテハ恩給取扱手續ニ規定セララル證明書類ノ進達ヲ省略シ海軍准士官以上履歴書及身上取扱規則第十三條、海軍下士官兵身上取扱規則第八條ノ二又ハ海軍文官身上取扱規則第十八條ノ二ノ規定ニ準ジ處理スルコト

契庶機密第三四九號

昭和十六年十月四日

海軍省 經理局長

關係各廳長殿

無線用真空管單價契約ノ件通牒

首題ノ件別紙ノ通左記會社ト契約締結致候條可然處理相成度
追而別紙ハ所要ノ向ニ配付ス

海軍公報（部内限）第三千九百二十號

昭和十六年十月十一日

一三四五

記	種	會社名
品	種	會社名
發振電球、整流電球、及真空接斷器	東京電氣株式會社	
發振電球及整流電球	株式會社川西機械製作所	
檢波電球	東京電氣株式會社 株式會社富田製作所	

○ 辭令

（各通）

第六海軍軍用郵便所員ヲ免ス（海軍省）

軍令部出仕海軍大尉 佐竹太右衛門

特務班勤務ヲ命ス（軍令部）

軍令部出仕海軍少佐 橋本重房

（各通） 軍令部出仕海軍大尉 德永 斌

同 同 佐竹太右衛門

特務班勤務ヲ免シ特務班班員ヲ命ス（海軍省）

通信書記 大林 龜彌

集配員 津田 國雄

同 秋田 信市

同 原田 俊一

同 同 佐竹太右衛門

同 同 橋本重房

同 同 德永 斌

同 同 佐竹太右衛門

同 同 佐竹太右衛門

同 同 佐竹太右衛門

同 同 佐竹太右衛門

同 同 佐竹太右衛門

同 同 佐竹太右衛門

同 同 佐竹太右衛門

同 同 佐竹太右衛門

同 同 佐竹太右衛門

同 同 佐竹太右衛門

同 同 佐竹太右衛門

同 同 佐竹太右衛門

軍令部部長 海軍中佐 瀬戸 喜久太

第二部第三課勤務ヲ命ス

軍令部出仕海軍機關大佐 岸川 登雄

臨時戦史部勤務ヲ命ス

軍令部出仕海軍主計大尉 岡崎 三郎

第三部勤務ヲ命ス(以上同)

軍令部課長海軍大佐 前田 精

第三部第七課長ヲ命ス

軍令部出仕海軍大佐 竹内 馨

臨時歐洲戰爭軍事調査部員ヲ命ス

軍令部出仕海軍中佐 松浦 義

臨時戦史部部員ヲ命ス(以上同)

海軍中佐 瀬戸 喜久太

參謀部第二部第三課勤務ヲ命ス(以上同)

海軍大佐 前田 精

參謀部第三部第七課長ヲ命ス(以上同)

海軍中佐 櫛引 誠雄

第一課勤務ヲ命ス

海軍中佐 寺嶋 昌善

第三課勤務ヲ命ス(以上同)

海軍主計少佐 青木 益次

大阪海軍監督官事務所及受持區域内ニ在ル艦裝員事

務原ニ要スル俸給旅費及手當支拂ノ爲資金前渡官吏ヲ命ス

海軍主計中佐 善木 豊
資金前渡官吏ヲ免ス(以上同) 支出官 海軍省經理局長

○ 雜 款

○將旗復歸
聯合艦隊司令長官ハ十月八日將旗ヲ長門ニ復歸セリ

○代將旗復歸
第二根據地隊司令官ハ十月七日代將旗ヲ阿蘇丸ヨリ管崎丸ニ復歸セリ

○郵便物發送先
當隊宛郵便物ハ左記ニ依リ發送相成度

司令宛 不知火
隊機關長、軍醫長宛 陽炎
主計長 霞
(第十八驅逐隊)

○ 艦船所在

▲印ハ「ハカ」ノ
指定ヲ要セズ

十月十一日午前十時

【横須賀】

春日▲、劍埼▲、山城▲、神威、赤城、瑞穂、蒼龍、高雄

野分、舞風、秋雲

驅潜特五三▲

野島、尻矢

（津輕）▲（伊三三）▲（伊三七）▲

【長浦】驅潜一五、驅潜二三、驅潜二四

【横濱】

國後

（筑紫）▲（驅潜二三）▲

浦賀

（湖、漣）

（風雲）▲

【石川島】驅潜一、驅潜二

【館山】澤風

【大湊】神風、野風、波風、沼風

【吳】

淺間▲、八雲▲、鳳翔、大井

若竹、吳竹、早苗

伊二、伊一、伊三、呂五七▲、呂五八▲

呂五九、伊五二、伊五三▲、伊五四、伊五五▲

伊五八

掃一七、掃一八

驅潜七、驅潜九、驅潜一九、驅潜二〇、驅潜二一

哨四六▲、哨三三、哨三三

【大阪】

早鞆、佐多、石廊

（日進）▲（伊二七）▲（伊三五）▲（伊七六）▲

矢風

【神戸】伊良湖▲（伊二〇）▲（伊二五）▲（伊三一）▲

伊四一▲（伊一一）▲（秋津洲）▲

（驅潜三）▲（若鷹）▲

【相生】香取

伊一七、伊二〇

哨三一

【舞鶴】吾妻▲、利根、筑摩、口多摩、木曾、薄雲▲、秋風、羽風、太刀風

鳩、鷲、初雁、真鶴、友鶴、千鳥

哨三六▲、哨三七▲

【佐世保】夕雲▲（秋月）▲

金剛、榛名、比叡、北上、足柄、瑞鳳、能登呂

望月、陸月、如月、彌生、水無月、三日月

呂三〇▲、呂三一▲、呂三二▲、呂三四▲、呂三三▲

呂六〇、伊五九▲、伊六〇▲

驅潜六、驅潜一六、驅潜一七、驅潜一八、驅潜特五一▲

哨三九、哨三八

敷島▲

【長崎】伊二四▲（伊二九）▲（伊三九）▲（伊四三）▲

驅潜特五二▲

0301

【鐵海】
 樞野 嶺野
 【作業地】
 朝顔、峯風、芙蓉
 宇治、安宅、二見、伏見、比良、熱海、
 鳥羽、勢多、堅田、保津、網田、名取、
 陸奥、嵯峨、橋立、磐手、香椎、
 長門、伊勢、日向、霧島、古鷹、大鯨、
 占守、青葉、衣笠、加古、川内、龍驤、
 扶桑、千代田、摩耶、愛宕、鳥海、妙高、
 千歲、那智、熊野、三隈、最上、鈴谷、
 羽黑、那珂、飛龍、白鷹、蒼鷹、初鷹、
 那珂、龍田、夕張、迅鯨、勝力、駒橋、
 天龍、常磐、阿武隈、長鯨、五十鈴、
 沖島、加賀、神通、翔鶴、鬼怒、由良、
 嚴島、八重山、球磨、瑞鶴
 村雨、春雨、五月雨、夕立、沙風、帆風、
 春風、松風、朝風、旗風、大潮、荒潮、
 朝潮、滿潮、朝雲、峯雲、山雲、夏雲、
 初雪、白雪、吹雪、白雲、東雲、叢雲、
 綾波、磯波、敷波、浦波、秋霧、夕霧、
 天霧、若葉、初霜、子日、初春、文月、
 皐月、長月、菊月、夕月、卯月、曉
 響、電、栗、梅、逆、刈萱、朧、早潮、
 親潮、夏潮、黑潮、雪風、時津風、
 天津風、初風、不知火、霞、陽炎、霞、
 谷風、浦風、濱風、磯風、追風、朝風、
 疾風、夕風、白露、夕暮、時雨、晴
 有明、涼風、秋風、雷、海風、江風、
 山風、涼風、夕風

【航海中】
 驅潛三 (七日横須賀發—佐世保へ)
 掃一、掃二、掃三、掃四 (九日横須賀發—作業地へ)
 石垣、大泊 (十日大湊發—作業地へ)
 沖風 (十日佐世保發—横須賀へ)
 隱戸 (十日佐世保發—吳へ)
 伊三三
 伊七五、伊三一、伊三三、伊二四、
 伊七〇、伊七一、伊七三、伊七三、伊七四、
 伊二六、掃五、掃七、掃八、掃九、掃一〇、
 掃一、掃二、掃三、掃四、掃五、掃六、
 驅潛四、驅潛五、驅潛八、驅潛三、
 驅潛一、驅潛一〇
 伊二
 宗谷、攝津、朝日、室戸、明石、鶴見、
 間宮、襟裳

0302

(限 内 部)

海軍公報(部内限)第三千九百二十一號

昭和十六年十月十三日(月)

海軍大臣官房

○通牒

艦本第八號ノ五二六二

昭和十六年十月三日

海軍艦政本部

關係各廳御中

入費概算書調製手續中改正ノ件通牒

昭和五年十月十八日艦本第四九一六號首題別表第四中
電氣無線ノ項ノ次ニ左ノ二項ヲ加フ

區	分	横須賀工廠	吳工廠	佐世保工廠	舞鶴工廠	技術研究所
工作物タル 有線施設	造修	横有線四第號	吳有線四第號	佐有線四第號	舞有線四第號	技有線四第號

(参照) 海軍艦政普通法規集二九二頁

航本機密第一〇二四二號

昭和十六年十月八日

海軍航空本部長

第十一、第二十二海軍航空廠長
海軍航空技術廠長 殿

航空兵器修理材料供給ノ件通牒

航本機密第二九一七號首題通牒ニ左記ヲ追加ス

供給先 年 額

- 臺南海軍航空隊 五、〇〇〇圓
- 小松島海軍航空隊 三、〇〇〇圓
- 第十七航空隊 三、〇〇〇圓
- 鹿島海軍航空隊北浦分遣隊 三、〇〇〇圓
- 鹿島海軍航空隊大津分遣隊 二、〇〇〇圓
- 霞ヶ浦海軍航空隊東京分遣隊 二、〇〇〇圓
- 霞ヶ浦海軍航空隊名古屋分遣隊 二、〇〇〇圓

海軍公報(部内限)第三千九百二十一號

昭和十六年十月十三日

一三四九

0303

- 軍艦 瑞 鶴 三、五〇〇圓
- 特設水上機母艦山陽丸 二、〇〇〇圓
- 特設水上機母艦相良丸 一、五〇〇圓
- 特設水上機母艦讚岐丸 一、五〇〇圓
- 伊號第二十三潜水艦 二〇〇圓

(参照) 昭和十六年四月二日海軍公報(部内限)

○ 辭 令

海軍技術會議議員海軍中將 降 幡 敏
 海軍艦政本部技術會議議員ヲ命ス
 海軍技術會議議員海軍中佐 吉田、英三
 海軍艦政本部技術會議議員ヲ命ス
 海軍航空本部技術會議議員ヲ命ス
 吳海軍工廠造船部部長兼海軍
 技術養成所教官海軍艦政本部
 造船監督官海軍造船大尉 濱野 和夫
 廣島監査官ヲ命ス(以上計四海軍省)
 軍令部出仕海軍大尉 高橋 義雄
 第四部第十課勤務ヲ命ス(計四軍令部)
 海軍大尉 高橋 義雄
 通信部第十課勤務ヲ命ス(計四大本營海軍部)

○ 雜 款

○將旗移揚
 第五根據地隊司令官ハ十月九日將旗ヲ陸上司令部ニ移揚セリ
 第一艦隊司令長官ハ十月十日將旗ヲ伊勢ニ移揚セリ
 ○將旗復歸
 第三航空戰隊司令官ハ九月二十八日將旗ヲ鳳翔ニ復歸セリ
 第十七戰隊司令官ハ十月五日將旗ヲ嚴島ニ復歸セリ
 ○司令艇變更
 第十六掃海隊司令官ハ十月九日司令艇ヲ第五玉丸ニ變更セリ
 ○郵便物發送先
 當隊宛郵便物ハ左記ニ依リ發送相成度

(各通)
 水路部員兼上海海軍 菅井 剛彦
 水路部附兼上海海軍 精松 一貞
 水路部附兼上海海軍 森尻 禮次
 水路部附兼上海海軍 森尻 禮次
 水路部附兼上海海軍 森尻 禮次
 主トシテ兼務應ニ於テ服務スヘシ(計五水路部長)

司令宛
隊機關長、軍醫長、主計長宛
(第七驅逐隊)

○第二海軍航空廠器材部關係荷物並ニ郵便物ハ自今左
記ニ依リ發送相成度

名稱	所在地	舊名稱
第二海軍航空廠器材部 (補給工場) 須賀	神奈川縣橫須賀市田浦町 (田浦驛)	橫須賀海軍軍需部第二課
同 木更津 補給工場	千葉縣君津郡 (木更津驛)	木更津軍需支庫
同 館山 補給工場	千葉縣館山市 (安房北條驛)	館山軍需支庫
同 鈴鹿 補給工場	三重縣河藝郡 (伊勢急行電鐵 伊勢線白子驛)	鈴鹿海軍航空隊內 橫須賀海軍軍需部倉庫
同 父島 補給工場	東京府父島 青森縣下北郡 重城(容積過大) ナルモノ下北驛 共ノ他 大湊驛	父島海軍航空隊內 同
第二海軍航空廠 大湊支廠		大湊要港部工作部 航本兵器造修關係
同 大湊支廠 器材科		大湊海軍軍需部 航本兵器補給關係

○事務所撤去
億洋丸艦裝員事務所ヲ十月八日撤去セリ

同 大湊支廠 千歲分工場	北海道千歲郡 (北海道千歲鐵道札 幌線千歲驛)	千歲海軍航空隊內 大湊海軍軍需部倉庫
同 美幌分工場	北海道網走郡 (網走本線 美幌驛)	美幌海軍航空隊內

海軍公報(部内限)第三千九百二十一號 昭和十六年十月十三日 一三五

0305

○ 艦船所在 印ハ「イ」カニ
指定ヲ受セズ

十月十三日午前十時

【横須賀】春日▲、劍崎▲、山城▲、神威、赤城、瑞穂、蒼龍、高雄

野分、舞風、沖風

驅潛特五三▲

尻矢

【長浦】津輕▲(伊三三)▲(伊三七)▲
驅潛一五、驅潛三、驅潛二四

【横濱】國後

知床

【浦賀】筑紫▲(驅潛三二)▲
潮、漣

【石川島】(風雲)▲
驅潛一、驅潛二

【大湊】神風、野風、波風、沼風

【吳】哨三四、哨三五

淺間▲、八雲▲、鳳翔、大井

若竹、吳竹、早苗、初風

伊二、伊一、伊三、呂五七▲、呂五八▲

呂五九、伊五二、伊五三▲、伊五四、伊五五▲

伊五六、伊五八

驅潛八、驅潛七、驅潛一九、驅潛二〇、驅潛二一

哨四六▲、哨三三、哨三三

早瀬、佐多、石廊、隠戸

【大 阪】(日進)▲(伊二七)▲(伊三五)▲(伊七六)▲
矢風

【神 戶】(驅潛二四)

(伊良湖)▲(伊一〇)▲(伊二五)▲(伊三二)▲
(伊四一)▲(伊一一)▲(秋津洲)▲

【相 生】(驅潛三三)▲(若鷹)▲

【佐 伯】(香取)

伊一七、伊二〇

【舞 鶴】哨三一

吾妻▲、利根、筑摩、口多摩、木曾、八丈

薄雲▲、秋風、太刀風

鳩、鷺、初雁、真鶴、友鶴、千鳥

哨三六▲、哨三七▲

【佐世保】(夕雲)▲(秋月)▲

金剛、榛名、比叡、北上、足柄、瑞鳳、能登呂

望月、睦月、如月、彌生、三月月

呂三〇▲、呂三一▲、呂三二▲、呂三四▲、呂三三▲

呂六〇、伊五九▲、伊六〇▲

驅潛六、驅潛一六、驅潛一七、驅潛一八、驅潛特五一▲

哨三九、哨三八

敷島▲

【長 崎】(伊二四)▲(伊二九)▲(伊三九)▲(伊四三)▲
驅潛特五二▲

櫻野

0306

【鎮海】朝顔、峯風、芙蓉
 【作業地】出雲、宇治、安宅、二見、伏見、比良、熱海、
 鳥羽、勢多、堅田、保津、隅田、名取、
 長門、陸奥、嵯峨、橋立、磐手、香椎、
 占守、伊勢、日向、霧島、古鷹、大鯨、
 扶桑、青葉、衣笠、加古、川内、龍驤、
 千歲、千代田、摩耶、愛宕、鳥海、妙高、
 羽黑、那智、熊野、三隈、最上、鈴谷、
 那珂、鹿島、飛龍、白鷹、蒼鷹、初鷹、
 天龍、龍田、夕張、迅鯨、勝力、駒橋、
 沖島、常磐、阿武隈、長鯨、五十鈴、
 加賀、神通、翔鶴、鬼怒、由良、
 嚴島、八重山、長良、球磨、瑞鶴、石垣、
 村雨、春雨、五月雨、夕立、沙風、帆風、
 春風、松風、朝風、旗風、大潮、荒潮、
 朝潮、滿潮、朝雲、峯雲、山雲、夏雲、
 初雪、白雪、吹雪、白雲、東雲、叢雲、
 綾波、磯波、敷波、浦波、狹霧、夕霧、
 天霧、朝霧、若葉、初霜、子日、初春、
 女月、阜月、水無月、長月、菊月、夕月、
 卯月、曉、響、電、栗、梅、蓮、刈萱、
 臘、早潮、親潮、夏潮、黑潮、雪風、
 時津風、天津風、不知火、霞、陽炎、霞、
 谷風、浦風、濱風、磯風、追風、朝風、
 疾風、夕風、白露、夕暮、時雨、晴、
 有明、嵐、萩風、雷、海風、江、
 山風、涼風、夕風、秋風、秋雲、
 鴻、鵠、隼、鴨、雁

【航海中】

羽風
 野島
 (十一日舞鶴發—作業地へ)
 (十二日横須賀發—佐世保へ)

呂六二、呂六一、呂六六、呂六五、呂六七、
 呂六八、呂六三、呂六四、伊六、伊四、
 伊五、伊七、伊八、伊九、伊一五、
 伊一六、伊一八、伊一九、伊二一、伊二三、
 伊二四、伊六五、伊六六、伊六七、伊五七、
 伊七〇、伊七一、伊七二、伊六八、伊六九、
 伊七五、伊三二、伊三三、伊三三、伊二四、
 伊三三、掃一、掃二、掃三、掃四、掃五、
 掃六、掃八、掃九、掃一〇、掃一一、掃一二、
 掃一三、掃一四、掃一五、掃一六、掃一九、
 掃一七、掃一八、
 驅潜四、驅潜三、驅潜五、驅潜九、
 驅潜二、驅潜一、驅潜一〇、
 哨二
 宗谷、攝津、朝日、室戸、明石、鶴見、
 間宮、襟裳、大泊

(限 内 部)

海軍公報 (部内限) 號外

○ 雜 款

○ 懲 罰

懲罰言渡書

海軍公報 (部内限) 號外

昭和十六年十月十三日 (火)
海軍大臣官房

0308

海軍公報 (部内限) 號外

0309

海軍公報 (部内限) 號外

三

0310

海軍公報 (部内限) 號外

四

0311

海軍公報 (部内限) 號外

五

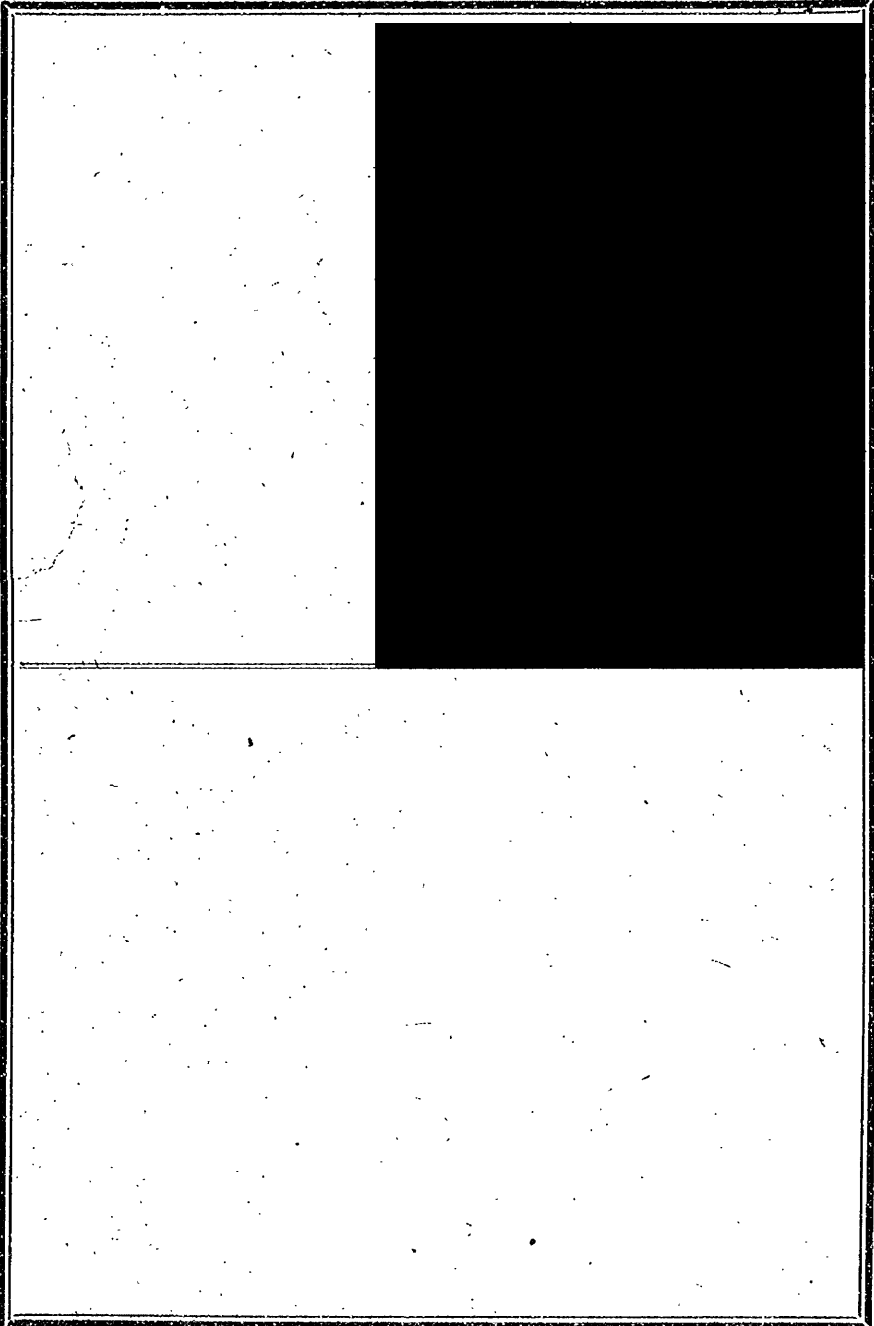
0312

海軍公報 (部内限) 號外

六

0313

海軍公報 (部内限) 號外



七

0314